

伊都キャンパスの生活状況等に関するアンケート結果の概要

平成28年3月1日

九州大学新キャンパス計画推進室

福利厚生施設WG

1. 調査の目的

伊都キャンパスでの学生生活に関する意向調査を実施し、その結果を基にして、伊都キャンパスにおける学生生活支援施設（食堂・課外活動施設等）の運営及び学生寄宿舍の整備等への活用並びに周辺地域での学生用宿舎の建設促進を図るためにアンケートを実施するもの。

2. 調査対象

平成27年12月現在、伊都キャンパスで勉学している学生

- ・ 基幹教育を学んでいる学部学生
- ・ 理学部、工学部及び21世紀プログラム課程の3年次以上の学生
- ・ 地球社会統合科学府、理学府、数理学府、工学府、システム情報科学府及び統合新領域の学生

3. 調査期間

平成27年12月2日（水）～平成28年1月31日（日）

4. 調査方法

九州大学Web学習システムによるアンケート調査（学生番号、氏名記載）

5. 回収結果

(1) 有効回収数 512人（回答率5.1%）

(2) 回収内訳

学部学生 341人（66.6%） 修士課程 125人（24.4%）

博士課程 43人（8.4%） 研究生等 0人（0.0%）

無回答 3人（0.6%）

※内、外国人留学生 37人（7.2%）

(3) 回答者の性別

男 69.7% 女 28.1% 無回答 2.1%

6. アンケート回答結果の概要

(1) 通学について

①自転車利用が1番多く130件(25.4%)、次いでバイク86件(16.8%)、昭和バス64件(12.5%)、徒歩61件(11.9%)の順となっており、今回の調査では、伊都キャンパスから5km圏内に住んでいる学生が多かったのが必然の結果である。

②伊都キャンパスへの通学に際し、利便性を向上させるための希望として、「夜遅くまでのバス運行(22.1%)」が1番多く、次いで「鉄軌道系の導入(19.4%)」、「土日祝日におけるバスの増便等の充実(17.3%)」、「平日におけるバスの増便等の充実(15.8%)」となっており、昨年度同様にバスに対する希望が多い。

③年間を通じての平均的な登校時間帯は、1限目開始前である8:00～8:40が最も多く188件(36.7%)、次いで、8:40～10:00が133件(26.0%)、10:00～10:30が88件(17.2%)と続き、授業や研究のため、96%以上の学生が午前中には登校していることがわかる。

また、平均的な下校時間帯は、4限目終了後である16:20～17:00が最も多く137件(26.8%)、次いで、19:00～21:00が68件(13.3%)であるが、その他はサークル活動や研究・実験終了後の17:00～22:00の間に分散している。

(2) 住居について

①現住所については、九大学研都市駅周辺83件(16.2%)の割合が最も高く、次いで、伊都キャンパスの学生寄宿舍61件(11.9%)、周船寺駅周辺53件(10.4%)、以下、泉・富士見・田尻、元浜・九大新町・・・と伊都キャンパス近郊に住んでいる学生が半数以上である。一方、東区から通学している学生も一定数(40件(7.8%))見受けられた。

②アパート・マンションの決定にあたっては、家賃(23.3%)を重視する回答が一番多く、次いで、インターネット設備(12.9%)、バス・トイレの別(11.8%)、広さ(11.7%)と続き、昨年比でインターネット設備の順位が上昇している。

③自宅周辺に必要な施設としては、スーパー(21.3%)が一番多く、次いで、飲食店(13.1%)、コンビニ(12.6%)、銀行・郵便局(12.5%)と続き、生活面での利便性が重視されている。

④居住地の周辺環境については、半数近くが満足しており(47.3%)、理由としては、スーパー・コンビニの近さ、交通の便、大学に近いなどがあげられている。

(3) キャンパス移転に伴う転居について

- ①48.8%の学生が既に転居を完了していると回答している。転居しないと答えた割合は42.2%となっている。昨年度とあまり変わりはない。
- ②転居した又は転居を希望するエリアとしては、福岡市西部（九大学研都市駅、周船寺駅周辺）と伊都キャンパス近隣（学生寄宿舍、九大新町、富士見）に二分化している。
- ③転居の際に重視した項目としては、家賃(15.0%)が最も高く、次いで、通学距離(13.3%)、周辺環境(9.1%)、交通の便(9.0%)の順となっている。

(4) キャンパスでの生活について

- ①伊都キャンパスの食事(昼食)についてみると、主に大学内の食堂が54.9%と最も高い。夕食については、自宅で食べる割合が半数以上を占めるが、学内の食堂を利用する割合が昨年度に比べ2倍強に増えている。(9.6%→22.5%)
- ②食事の価格については、「適当である」を選択した学生の割合は65.4%と、昨年61.8%より増加した。
- ③伊都キャンパスでの学生生活に「非常に満足している」及び「満足している」割合は45.7%で昨年度に比べ増加した。また、「非常に不満である」及び「不満である」と回答した割合は24.4%であり、昨年度に比べ若干減少した。
- ④キャンパス周辺に必要な施設については、「コンビニ・スーパー」が23.3% (390人)と最も多く、次いで「飲食店(レストラン等)」が18.9% (315人)、「娯楽施設」と「書店」が11.8% (244人)「病院・薬局」が11.1% (186人)である。昨年度と比較すると「書店」の需要が高まっている。また、自転車等修理店の割合も高まっている。